



台東区谷中商店街よみせ通りのノコギリ屋根工場
(第五回大会巡検)

2012年7月1日 細谷 美紀 撮影

地理空間学会ニュースレター

TOPICS

- ・第5回大会, 巡検報告
- ・総会報告
- ・第6回大会の案内
- ・例会報告
- ・寄贈文献紹介
- ・会員情報
- ・学会からのお知らせ

JAGS

第5回大会の報告

2012年6月30日(土), 7月1日(日)に筑波大学東京キャンパスにおいて第5回大会が開催されました。大会参加者91人, 当日は評議会の後, 下記の研究発表が行われ, 活発な議論が展開されました。

【一般発表】

福井一喜(筑波大・院): 長野県飯田市におけるローカル新聞を用いた広告活動の展開。

渡邊敬逸(財団法人小千谷産業開発センター): 中山間地域における集落連合の形成と課題—小千谷市東山地区を事例に—。

堀本雅章(法政大沖縄文化研究所): 架橋に対する住民意識—沖縄県伊平屋島村野甫島の事例—

卯田卓矢(筑波大・院): 戦前期比叡山における観光化と教団の対応。

GREGER Konstantin(筑波大・院): Micro-Scale Terrorism Vulnerability Mapping: A Case Study of Tokyo, Japan.

吉田国光(金沢大): 十勝平野における農家間ネットワークからみた大規模畑作をめぐる農業生産空間—とくに共同収穫と出荷形態に注目して—。

鄭 玉姫(立教大・非)・丸山宗志(立教大・研)・佐藤大祐(立教大): 昭和初期の雲仙における外国人客層と東アジア避暑地間の競合。

久木元美琴(学振PD・首都大)・小泉 諒(首都大・院): 東京都における保育サービス供給の地域格差—認可外保育所の立地と供給主体に注目して—。

藤永 豪(佐賀大): 干潟・浅海域における漁撈と環境認知—有明海の事例—。

岩間信之(茨城キリスト教大): 日本におけるフードデザート問題研究のフレームワーク。

【ポスター発表】

第5回大会から, 優秀なポスター発表に対し, 「地理空間学会ポスター賞」を授与することとなりました。

P01 艾 博翰(筑波大・院)・山本敏貴(筑波大・院)・橋本 操(筑波大・院)・LWIN, Ko Ko(筑波大)・村山祐司(筑波大): キャンパスライフ向上のためのWeb GIS。

P02 石坂 愛(筑波大・院): 空間認識と場所イメージの主体別比較—「原宿」を事例に—。

- P03 磯野 巧（筑波大・院）・蘇 磊（筑波大・院）・新名 亜津子（鳥取環境大）：南アルプスジオパークにおけるジオサイトの利活用。
- P04 小野 優（東京大・院）：東日本大震災に伴う帰宅困難者の空間行動。
- P05 金子 愛（筑波大・院）：平成の大合併における群馬県高崎市と周辺市町村の合併協議過程に関する研究—吉井町と玉村町を事例として—。
- P06 神 文也（筑波大・院）：観光にみる筑波山のイメージメディア分析を用いて—。
- P07 北島吉崇（日本放送協会）・藤永 豪（佐賀大）：沖縄渡嘉敷島阿波連における信仰空間とその変容。
- P08 駒木伸比古（愛知大）：愛知県におけるドラッグストアの立地展開—超高齢社会における地域医療拠点としての役割に着目して—。（ポスター賞受賞）
- P09 小室 譲（筑波大・院）：山村地域における観光客の受け入れ態勢と地域住民による観光地の形成について

—宮崎県高千穂町を事例に—。

- P10 中川恵理子（東京大・院）：生鮮野菜産地の集中度と卸売市場間価格差の空間パターン分析。（ポスター賞受賞）
- P11 橋爪孝介（筑波大・院）：ローカルフードの導入による地域振興の現状と課題—三重県鳥羽市を事例に—。
- P12 細谷美紀（筑波大・院）：日本における学歴付与システムの実態と変容。
- P13 村上翔太（筑波大・院）：つくば市における都市公園の施設と利用—近隣公園に着目して—。
- P14 渡邊瑛季（筑波大・院）：日本におけるスピードスケートの地域的特徴。（ポスター賞受賞）

【招待講演】

田代 博（筑波大附属高）：メルカトルはオランダ人ではない！地図・地理教育の現場からの話題提供—40 年の授業実践を踏まえて—。

巡検報告

第5回地理空間学会大会2日目となる2012年7月1日には、大会巡検を実施しました。当日は天候にも恵まれ、33名の会員の皆様にご参加をいただきました。今回は、大会が都内での開催ということもあり、「町並みにみる伝統的価値の再発見—谷中からアキバをあるく—」と題して、荒川区谷中から上野を経由し秋葉原までを徒歩で巡りました。

午前中はまず、伝統的景観（築地塀）、宗教景観（谷中霊園等）、商店街再興（谷中銀座における商店街の景観統一）、そして伝統的建造物の再活用（蔵の文化的再利用）といった様々なテーマで谷中を歩きました。参加者の中には、初めて見る景観もあったそうです。その後は一時解散して各自で昼食をとり、上野の台東区下町風俗資料館に再集合しました。上野は伝統的な商業集積地

である一方、近年ではエスニックタウンとしての性格も強まっています。景観観察をしながら、そうした近年の地域変容について理解を深める一方、上野に隣接する学問の地としての本郷・湯島周辺を歩き、坂の名称由来や歴史にも触れることができました。秋葉原では、2000年代前半より開始された大型再開発により変貌した都市としての姿を、サブカルチャーの視点を交えつつ見学しました。

末筆になりますが、本巡検に際して御協力を頂きました方々に厚く御礼申し上げます。

（巡検オーガナイザー：池田真利子・磯野 巧・卯田卓矢（筑波大・院））

表紙写真：巡検風景。谷中のノコギリ屋根工場群を見学中

総会報告

日 時：2012 年 6 月 30 日（土）16：00～16：50

場 所：筑波大学東京キャンパス文京校舎 134 講義室

参加者：54 名

地理空間学会 2012 年度総会は、2012 年 6 月 30 日（土）16：00～16：50、筑波大学東京キャンパス文京校舎 134 講義室にて開催された。山下清海常任委員長の開会の辞、白坂 蕃会長の挨拶があった。次に高橋重雄会員を議長に選出し、福田 綾会員に書記を委嘱した。

①会務報告（山下常任委員長）

● 会員数

2012 年 6 月 16 日現在 276 名（一般会員：199 名，大学院生会員：66 名，学生会員：9 名）

● 第 4 回大会の開催

第 4 回大会を 2011 年 6 月 18 日・19 日に筑波大学筑波キャンパスで開催した（参加者：88 名）。

● 第 11 会例会の開催

2011 年 10 月 1 日、JICA 研究所国際会議場で開催。独立行政法人国際協力機構（JICA）と共催（参加者 41 名）。例会テーマ：アジアの大都市の 100 年：都市発展と環境変化

発表者及びタイトル

山下亜紀郎（筑波大）：アジアの大都市における土地利用変化とその地域的要因

一ノ瀬俊明（国立環境研究所）：アジアの大都市における複数地点の土地利用データによる都市気候変遷の解明

白木洋平（立正大）：アジアの大都市における土地利用と地表面温度の関係

遠藤崇浩（筑波大）：アジア大都市における地下環境と共有資源問題

豊田知世（JICA 研究所）：アジア大都市における地下環境変化のステージモデル

谷口智雅（三重大）：アジア大都市における都市発展および地下水利用の変化と水辺景観

吉越昭久（立命館大）：アジアの大都市の都市発展モデルと水環境変化

● 第 12 会例会の開催

2011 年 12 月 15 日、筑波大学筑波キャンパスで開催（参加者 53 名）。発表者及びタイトル：山下宗利（佐賀大）「ジェントリフィケーションにみる都心空間の変容—トロンと東京—」

● 第 13 会例会の開催

2012 年 1 月 27 日、筑波大学筑波キャンパスで開催（参加者 53 名）。発表者及びタイトル：仁平尊明（北海道大）「ブラジル熱帯湿原におけるフィールドワーク」※本例会は科学研究費補助金基盤研究(A)「フィールドワーク方法論の体系化」（代表：村山祐司）と共催。

● 機関誌「地理空間」の刊行

機関誌『地理空間』第 4 巻 1 号を 2011 年 6 月 20 日に、第 4 巻 2 号を 2011 年 12 月 20 日刊行した（論説 3 編，研究ノート 1 編，調査報告 2 編，地理資料 1 編，フォーラム 1 編，書評 6 編，学会記事等を掲載）。

● ニュースレターの発行

第 11 号（2011 年 10 月 3 日），第 12 号（2012 年 2 月 8 日），第 13 号（2012 年 6 月 25 日）

● ホームページおよびメーリングリストの運営

● 2012 年度学会賞

選考委員会：矢ヶ崎典隆（委員長），井田仁康，堤 純，村山祐司（事務局）

【特別賞】

小林浩二

受賞対象：小林浩二著『地域研究とは何か—フィールドワークからの発想—』古今書院，128p.，2012 年 1 月。ほか 11 点の著作。

【学術賞】

岩間信之

受賞対象：岩間信之編著『フードデザート問題—無縁社会が生む「食の砂漠」—』農林統計協会，162p.

2011 年 6 月.

櫻井明久

受賞対象：櫻井明久著『社会科教師のための地理教材の
作り方』古今書院, 141p. 2011 年 3 月.

仁平尊明

受賞対象：仁平尊明著：『エネルギー効率から見た日本
の農業地域』筑波大学出版会, 316 頁, 2011 年 3
月.

原田洋一郎

受賞対象：原田洋一郎著『近世日本における鉱物資源開
発の展開—その地域的背景—』古今書院, 300p.,
2011 年 2 月.

山下清海

受賞対象：山下清海著『池袋チャイナタウン—都内最大
の新華僑街の実像に迫る—』洋泉社, 191p.,
2010 年 11 月. 山下清海編著『現代のエスニッ
ク社会を探る—理論からフィールドへ—』学文
社, 213p., 2011 年 3 月.

【奨励賞】

林 琢也

受賞対象：林 琢也 「グローバル化に対応したリンゴ
生産と品種の管理—日本ピンクレディー協会
を事例に—」, 『茨城地理』(茨城地理学会), 10
号, pp.93-102, 2009 年 8 月. Hayashi, T.
「Sustainable systems of agri-tourism in a
cherry-growing area: A case study of the
Miizumi area, Sagae City, Yamagata
Prefecture」, 『Geographical Review of Japan
Series B』(日本地理学会), 82 巻 2 号, pp.60-77,
2010 年 5 月. 林 琢也・呉羽正昭 「長野盆地
におけるアグリ・ツーリズムの変容—アップル
ライン (国道 18 号) を事例に—」, 『地理空間』
(地理空間学会), 3 巻, pp.113-136, 2010 年 12
月.

吉田国光

受賞対象：吉田国光 「北海道大規模畑作地帯における

社会関係からみた農地移動プロセス」, 『地理
学評論』(日本地理学会), 81 巻, pp.402-421,
2009 年 9 月. 吉田国光・市川康夫・花木宏道・
栗林 賢・武田周一郎・田林 明「大都市近郊
における社会関係からみた稲作農家の農地集
積形態」, 『地学雑誌』(東京地学協会), 119
巻, 810-825, 2010 年 10 月. ほか 3 点の論文.

②決算報告・監査報告 (兼子会計委員長)

2011 年度の一般会計および特別会計の決算案が提示さ
れ, その収支について会計監査人より適正であるとの承認
を受けたことが報告された。2011 年度決算案は異議なく
承認された。

〈一般会計〉

収入

単位：円

費目	2011 年度予算	決算
会費	581,000	779,000
地理空間学術基金より 繰り入れ	70,000	0
機関誌販売	80,000	132,233
頁超過料金	200,000	360,000
大会参加費	40,000	38,000
2010 年度からの繰越金	452,208	452,208
2011 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日 合計	1,423,208	1,761,441

支出

単位：円

費目	2011 年度予算	決算
印刷製本費	900,000	983,163
大会運営費	180,000	112,586
東日本大震災地理教育 復興支援事業	100,000	100,290
通信運搬費	60,000	66,925
消耗品費	20,000	14,763
事務費	13,208	420
予備費	150,000	0

繰越金	0	483,294
2011年4月1日～2012年3月31日 合計	1,423,208	1,761,441

〈特別会計〉

単位：円

収入	決算額	支出	決算額
前年度繰越金	452,208	2011年度一般会計への支出金	0
寄付金	0	次年度繰越金	452,208
合計	452,208	合計	452,208

③2012年度事業計画案（山下常任委員長）

2012年度事業計画について、『地理空間』第5巻1号・2号の刊行、例会の開催、ニュースレターの発行が提案された。2012年度事業計画は異議なく承認された。

④2012年度予算案（兼子会計委員長）

2012年度予算案について、収支と支出に関する説明がなされた。2012年度予算案は異議なく承認された。

単位：円

収入		支出	
繰越金	483,294	印刷製本費	1,000,000
会費	617,000	大会運営費	230,000
学術基金	0	通信運搬費	70,000
機関誌販売	160,000	消耗品費	20,000
頁超過料金	200,000	事務費	60,294
大会参加費	20,000	予備費	100,000
2012年4月1日～2013年3月31日 合計	1,480,294	2012年4月1日～2013年3月31日 合計	1,480,294

⑤2012～2013年度役員・専門委員会の構成（山下常任委員長）

2012～2013年度役員および専門委員会（2012年7月1日～2014年6月30日）の構成員について提案され、了

承された。次期役員および専門委員会は意義なく了承された。

会長：内山幸久（立正大）

会計監査：手塚 章（筑波大名誉）、矢ヶ崎典隆（日本大）

常任委員：山下清海（常任委員長，筑波大）、呉羽正昭（庶務委員長，筑波大）、兼子 純（会計委員長，筑波大）、森本健弘（集会委員長，筑波大）、松井圭介（編集委員長，筑波大）

評議員：井田仁康（筑波大）、伊藤 悟（金沢大）、伊藤徹哉（立正大）、小口千明（筑波大）、小野寺 淳（茨城大）、加賀美雅弘（東京学芸大）、兼子 純（筑波大）、川瀬正樹（広島修道大）、菊地俊夫（首都大学東京）、呉羽正昭（筑波大）、小林岳人（松戸国際高）、小宮正実（帝国書院）、篠原秀一（秋田大）、須山 聡（駒沢大）、平 篤志（香川大）、高橋重雄（青山学院大）、田林 明（筑波大）、堤 純（愛媛大）、中西僚太郎（筑波大）、中村周作（宮崎大）、中村理恵（前橋高）、仁平尊明（北海道大）、根田克彦（奈良教育大）、橋本雄一（北海道大）、平岡昭利（下関市大）、松井圭介（筑波大）、丸山浩明（立教大）、村山祐司（筑波大）、森本健弘（筑波大）、山下亜紀郎（筑波大）、山下清海（筑波大）、山下宗利（佐賀大）、若本啓子（宇都宮大）

〈専門委員会〉

庶務委員会：呉羽正昭（委員長）、磯野 巧、大石貴之、福田 綾

会計委員会：兼子 純（委員長）、栗林 賢、福井一喜、横山貴史

集会委員会：森本健弘（委員長）、山下亜紀郎（副委員長）、池田真利子、市川康夫、卯田卓矢、遠藤貴美子

編集委員会：松井圭介（委員長）、堤 純（副委員長）、井田仁康、小口千明、須山聡、田林 明、中西僚太郎、橋本雄一、丸山浩明、村山祐司、矢ヶ崎典隆、山下 潤、Thomas C. Waldichuk（書記）小野澤泰子、橋本暁子、橋本 操
学会賞選考委員（※2012年7月1日～2013年6月30日，1年間）：井田仁康（委員長）、岩間信之、仁平尊明、村山祐司（事務局）

第6回大会の案内

第6回大会は2013年6月29日(土)(研究発表・会長講演・総会・懇親会)、6月30日(日)(巡検)という日程で、つくばでの開催を予定しております。詳細な日程や巡検場所などが決定しましたら、メーリングリストやニューズレターで連絡いたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

例会報告

2012年9月27日(木)に、筑波大学筑波キャンパス総合研究棟A110において、第14回地理空間学会例会が開催されました。

【発表者および演題】福島義和(専修大):「長崎市斜面居住の現状と課題—水の浦地区を事例に—」

当日は38名の参加があり、活発な議論が交わされました。例会要旨は『地理空間』5巻2号に掲載いたします。

また、2012年12月6日(木)に、筑波大学筑波キャンパス総合研究棟A111において、第15回地理空間学会例会が開催されました。

【発表者および演題】田林明(筑波大)「農業・農村地理学の調査・研究手順—黒部川扇状地からの発想—」

当日は48名の参加があり、活発な議論が交わされました。例会要旨は『地理空間』5巻2号に掲載いたします。

寄贈文献紹介

平岡昭利会員より、著書を寄贈いただきました。

平岡昭利著『アホウドリと「帝国」日本の拡大—南洋の島々への進出から侵略へ—』明石書店、2012年11月10日刊、

279p.

内容についての詳細は出版社のホームページをご覧ください。<http://www.akashi.co.jp>

会員情報

● 田林 明会員 最終講義のお知らせ

2012年度をもって、田林 明会員が筑波大学を退職されます。つきましては筑波大学において田林 明会員の最終講義が行われます。

【日時】2013年2月19日(火) 13時45分~16時30分

【場所】筑波大学 第一エリア 1H棟 101講義室

【講義題目】「最近の農業・農村地理学研究—持続的農村・農業の担い手・農村空間の商品化—」

【連絡先】〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学大学院生命環境系 松井圭介

(jiji@geoenv.tsukuba.ac.jp)

学会からのお知らせ

<会計委員会からのお知らせ>

1. 住所・所属先変更の連絡について

学会では機関誌『地理空間』の発送やその他のご連絡に際し、会員の方々のご住所を利用させていただいております。しかし、既に何名かの方は住所が不明になっており、機関誌の発送や名簿作成において支障が生じております。

2. 会費納入のお願い

そこで、学会に加入時から現在にかけて住所やご所属先に変更がありましたら、お手数ですが学会事務局までご連絡のほど、よろしくお願いいたします。

多くの方々から会費の納入をいただいておりますが、若

干名, 過年度の会費納入がお済みでない方もいらっしゃいます。未納の方は, 「地理空間」第4巻1号に同封した振込用紙でお支払下さい。納付したか不明な方や振込用紙を希望の方は, 事務局までお問い合わせ下さい。大学を通じて電子振込みをされる場合には, 必ず氏名とご所属先の明記をお願い致します。

[年会費の振込先]

(ア) ゆうちょ銀行への振込 (ゆうちょ銀行の振込用紙を使用) 口座記号: 00120-5 口座番号: 779957

(イ) 他の金融機関の口座からの振込

銀行名: ゆうちょ銀行 金融機関コード: 9900

店番: 019 店名: 〇一九店 (セ"ロイチキュウテン)

預金種目: 当座 口座番号: 0779957 受取人名: チリクウカンカ"ツカイ

(ウ) 年会費 一般会員 4,000 円 大学院生会費 2,000 円, 学生会費 1,000 円

2. 「地理空間学会学術基金」の募金について

「地理空間学会学術基金」の募金活動について, 会員の皆さまの一層のご理解とご援助を賜りますようお願い申し上げます。

[地理空間学会学術基金の内容]

名称: 地理空間学会学術基金

目的: 地理学の優れた研究者を育成することを目的として, その研究活動の充実を図るための資金として活用する。

募集対象: 本学会の活動理念を理解し, 本寄付の趣旨にご賛同いただける方。

ご依頼額: 1 口 2 万円 (何口でも可能です)

[振込方法]

(ア) ゆうちょ銀行への振込 (ゆうちょ銀行の振込用紙を使用) 口座記号: 00150-3 口座番号: 707452

(イ) 他の金融機関の口座からの振込

銀行名: ゆうちょ銀行 金融機関コード: 9900

店番: 019 店名: 〇一九店 (セ"ロイチキュウテン)

預金種目: 当座 口座番号: 0707452

受取人名: チリクウカンカ"ツカイカ"クシ"ユツキキン

※ 基金への寄付をしていただいた方のお名前は, 機関誌「地理空間」やホームページ等に掲載させていただきます。お名前の掲載をご希望でない方は, 「匿名希望」とご記入下さい。不明な点は, 事務局までお問い合わせください。

<編集委員会からのお知らせ>

1. 第5巻2号発行のお知らせ

発行予定より大変遅れており誠に申し訳ありませんが「地理空間」第5巻2号は, 2013年2月に発行されます。

2. 超過ページ料金改正について

地理空間学会第3回総会において, 超過ページの料金が改正されました。「地理空間」第4巻1号から適用されています。

[改正前]	刷り上がり	12 頁まで	: 無料
		13 頁以降	: 10,000 円/頁
[改正後]	刷り上がり	12 頁まで	: 無料
		13~16 頁	: 10,000 円/頁
		17 頁以降	: 5,000 円/頁

3. 次号以降の投稿について

第6巻1号は, 2013年6月末の発行を予定しております。以降の原稿は随時受け付けており, 査読を経て受理された論文から順次掲載して参ります。内容は最新の論争から時事性, トピック性の高いテーマ, 丹念な調査に基づく活きのよい事例研究まで幅広く受け付けております。会員皆様の活発な寄稿をお待ちしております。投稿規定や執筆要領については, 地理空間学会ホームページもしくは「地理空間」第1巻2号をご覧ください。

4. 定期購読のお願い

本学会の活動を知っていただくため, 会員の皆さまの研究室や大学・高校の図書館等での「地理空間」の定期購読をご検討いただけますようお願い申し上げます。ご購読いただける場合には, 学会事務局までお知らせ下さい。

5. 「地理空間」掲載論文のリポジトリ等への掲載について

掲載誌が刊行されてから半年を経過した場合には、大学

等の学術リポジトリや著者本人のホームページ等へ自著の論文の掲載を認めます。掲載論文の電子ファイルが必要な方は、学会事務局までご連絡下さい。

＜学会賞選考委員会からのお知らせ＞

この度、2013 年度（第四回）地理空間学会賞の受賞候補者の推薦を募集いたします。内容は、以下の通りとなっております。会員の皆様の積極的なご推薦（他薦または自薦）をお願いいたします。

1. 「地理空間学会賞」の種類

（1）奨励賞：満 40 歳未満の会員で顕著な研究業績を刊行し、今後の一層の発展が期待される会員に授与する。

（2）学術賞：特に顕著な研究業績を公刊した会員に授与する。

（3）特別賞：地理学の水準向上および普及・啓発に特に顕著な功績のあった会員に授与する。

2. 受賞の条件

「2013 年度地理空間学会賞」の奨励賞および学術賞は、

2010 年 1 月 1 日～2012 年 12 月 31 日の 3 年間に刊行された研究業績が対象となります。

3. 推薦書類の形式

（ア）推薦者の氏名・所属・連絡先

（イ）受賞対象となる研究業績

（ウ）受賞候補者の氏名・所属・連絡先

（エ）推薦理由（200 字程度）

※メーリングリストで既にご送信しております「学会賞推薦書フォーム」をお使いください。

4. 推薦書類の提出先（電子メールでの推薦も可）

〒305-8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1 筑波大学
生命環境科学研究科 地球環境科学専攻内 地理空間学
会事務局「学会賞選考委員会」

E-mail: geospace@geoenv.tsukuba.ac.jp

ニュースレター編集係より

厳しい寒さが続いておりますが、会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。大変遅くなり誠に申し訳ありませんが、地理空間学会ニュースレター第 14 号をお送りいたします。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

※ ニュースレターでは、会員の皆様の学会関連情報を掲載して参ります。掲載すべき情報や要望がございましたら、学会事務局までお寄せください。

※ 連載コラム「わがまち速報」は休載しました。



地理空間学会ニュースレター 第 14 号

発行日：2013 年 1 月 28 日

〒305-8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1

発行所：地理空間学会事務局

筑波大学大学院地球環境科学専攻内 地理空間学会事務局

TEL/FAX 029-853-6873

E-Mail geospace@geoenv.tsukuba.ac.jp

URL jags.ne.jp